

抱樸館を支える会 会報

22号



2017年2月1日 発行:抱樸館を支える会

「規則正しい生活が自立への第一歩」 抱樸館福岡の「一日」を三堀館長にお聞きしました。

抱樸館の一日を三堀明人館長にお聞きしました。

——入居者にどのように抱樸館で過ごしてほしいと考えておられますか。

「抱樸館福岡で過ごす間に、働ける人は技能講習や就労訓練により仕事に就けるようになってほしいですね。それから高齢や病気などで働けない人には自立して生活できるようないろいろなことを学んで欲しいと思っています。ここに入ってくる人は社会でつらい思いをしているので、抱樸館が“ほ”とできる場所になればよいと思っています。」

——抱樸館福岡の一日を教えてください。

「朝は6時の起床とし、朝食は7時からです。週5日はご飯、2日はパン食です。ご飯食のみそ汁がおいしいと好評です。パン食は、もともとご飯よりもパンを好んで食べる若い方々に人気があるようです。朝食後の7時40分から全員で館内清掃をします。風呂、トイレ、階段、食堂、相談室、2階の談話室などを分担します。8時50分からはラジオ体操です。スタッフと入居者が一緒になって元気よく体を動かします。続いて9時から地域清掃ボランティア



アです。地域清掃は月～金曜日の毎日、「抱樸館福岡」のゼッケンをつけて行きます。こま

までが朝からの一連の行動です。館内清掃は皆さんに分担してお願いしていますので、ほぼ全員が参加します。ラジオ体操と地域清掃は参加自由ですので、10～15名くらいしか参加がありません。起床から地域清掃まで参加が、一日の規則正しい生活の基礎だと思っていますので、入居者の皆さんにはすべて参加いただきたいと思っています。」

——昼食から就寝までをお聞かせください。

「昼食は12時からです。昼食に限らずですが、バランスのとれた“家庭での食事”を目指しています。食器も陶磁器を使っています。見学者から“このような施設はプラスチックの食器を使っていることが多いけど、ここは食器も良いですね”とお褒めいただきます。



夕食は18時からです。仕事や用事で遅くなる人には置き置きもします。入浴は毎日18時～21時まで自由に入れます。施設によっては2日に1回しか浴槽にお湯をはらないところもあると聞きますが、ここでは家庭のように入浴して毎日しています。門限は20時で、消灯は22時です。



門限は守られるのですが、消灯は個人の部屋で遅くまで起きていることについては特に対応はしていません。」



——以上で一日の動きを説明いただいたのですが、次に入居から就労や自立した生活に向けての準備などについてお聞かせください。

「入居者には最初に担当スタッフが、その人のこれまでのことやこれからどうしたいかなどについて詳しく聞き取ります。就労を希望する方にはキャリアカウンセラーの面談を受けてもらいます。この面談を通じて自分の生きがいや何かを再認識して就労に結び付けていくことになります。その上で技能講習や就労訓練を通じて就労の準備を進めていきます。」

——就労ではなく自立して生活する人へのサポートはどうなっていますか。

「スタッフの聞き取りのあと、病気を治す必要がある人には**通院のサポート**など担当スタッフが対応します。更に、高齢の人には**老人ホーム**



病院に同行



やグループホームなどの見学、就労は難しいけれど何らかの日常の作業ができそうな人には**作業所の見学にも同行**します。」

「自立した生活のために**料理練習会**も毎月一度開催しています。料理練習会は卒業生のためでもあります、入居者も希望すれば参加できます。」

——館内でレクレーションもあるのですか。

「カラオケ、卓球、映画上映会などがあります。

カラオケは大人気のプログラムです。映画上映会は洋画・邦画を問わず、娯楽作品から人生を考える作品まで幅広く上映しています。いずれも2週に一度開催しています。」



老人ホームの見学同行



カラオケ



映画上映会



卓球

——ボランティアで業務車両の清掃などをお願いしているそうですね。

「厨房排水の清掃を週2回、業務車両の洗車を週1度、入居者のボランティアをお願いしています。」



——「カフェさんぽみち」は毎週金曜日ですね。

「すっかり定着して抱樸館の名物になっています。どなたでも利用できるのです、卒業生もよく

来られるし、近所のママ友が子どもと一緒に連れ立って来られます。入居者との交流も深まり、ママ友で来られる方に子どもが生まれたので、入居者のMさんに是非子どもを抱いてほしいということでMさんを迎えに来られ、Mさんは産院で子どもを抱かせてもらったそうです。」



——趣味の生け花教室なども開かれていますね。

「パステル画、生け花教室、手仕事ボランティアが、それぞれ月に1度開かれています。参加するのは卒業生が多く、交流も深まっているようです。」



パステル画



生け花



手仕事ボランティア

——そのほかの行事などについてもお聞かせください。

「月に一度、福岡女学院看護大学の先生や学生さんに協力いただき、健康相談会もやっています。」



「入居者や卒業生のために、月に3度散髪のボランティアがあります。散髪してくださるのは抱樸館福岡が出来て最初の頃に入居されていた方です。入居者は300円、卒業生は500円で散髪して



もらうことができます。それから最近『園芸部』が発足しました。卒業生が中心で入居者も加わった8名の方で抱樸館の中庭の畑で様々な野菜作りをしています。また年に一度きずな祭を11月ごろ開催しています。これは入居者・卒業生、地域の方々、グリーンコープの関係者、それからさまざまに支援くださっている皆さんが参加されます。」



園芸部の皆さん



きずな祭

——最後に館内を案内してください。

「入居者の居室は1～3階に81室あります。交流スペースが1階の食堂横にあり、2階と3階には談話室があります。談話室にはテレビ、冷蔵庫、将棋などがあり入居者同士が交流できるようになっています。相談室が1階に4室あり、スタッフやキャリアカウンセラーとの面談に使われます。仕事や就労訓練に出かけない入居者は談話室で歓談したり居室で過ごしたりします。」



交流スペース（1階）



談話室（2階）

「入居者の皆さんには、抱樸館福岡で規則正しい生活を取り戻し、自立に向けた生活の起点になれば良いと思っていますし、そのようにスタッフ一同努力しています。」



居室でくつろぐ入居者

——ありがとうございました。

抱樸館福岡では卒業生訪問をしています。

抱樸館福岡では、卒業生の皆さんに年に4回のお便り、誕生日の電話連絡、またアフターフォローが必要な方には個別に連絡を取っています。

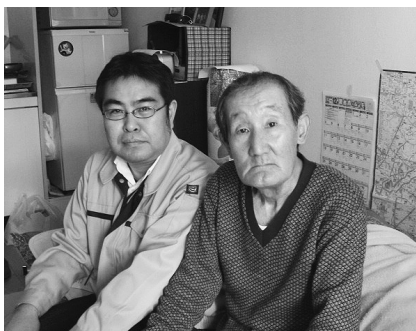
今回、日常の連絡が取れていない福岡市内の卒業生全員の訪問をされているということで同行させていただきました。

(注：今回訪問する卒業生は、福岡市内がほとんどで、2名だけ近隣の町の方です。)

12月20日、アフター部門の福村昇平主任に同行しました。本日は福岡市中央区の6人を訪問する予定です。

最初はAさんです。Aさんは卒業以来抱樸館に来られたことが無いようで、会えれば5年ぶりになります。ピンポンでドアが開きます。「お久しぶりです」という挨拶をすると、福村主任を覚えておられたようで、懐かしいという感じでした。お部屋に入り近況をお聞きします。

Aさんは67才、生活保護を受けていますが、中央区のシルバー人材センターに登録して、路上放置自転車の整理の仕事を週4日間、4時間ずつされているということです。シルバー人材センターは互助会があり、忘年会もあるということです。また互助会の仲間と麻雀などもすることがあるようです。テーブルの上に写真があるのでお聞きすると「両親は亡くなった。これは兄弟の写真である」ということです。



福村主任（左）と卒業生（右）

福村主任が抱樸館のカフェなどの案内をして、「健康に過ごしておられて安心しました。抱樸館にも顔を出してください。」という話をしました。

つぎはBさんです。ベルを鳴らしますが、応答がありません。「B様、訪問しましたがお留守でした。抱樸館福岡にぜひおいでください。」という置手紙とカフェや料理練習会などの案内をポストに入れます。

次はCさんです。入り口でベルを鳴らすと返事があり、ドアが開きました。

Cさんは53才で、美野島めぐみの家の炊き出しの際に、抱樸館福岡のスタッフと日常コンタクトがあるようです。Cさんは、生活保護を受けてこの部屋に5年くらい住んでいます。精神科、内科、そして整形外科に通院し、訪問介護も受けているということです。以前は就労継続支援作業所に通っていたが、体調も良くないので、しばらく行っていないということです。訪問介護事業所と担当者をお聞きすると、福村主任が知っている方々です。福村主任が抱樸館のカフェなどの案内をし、「何かあったら、美野島めぐみの家の炊き出しの際、抱樸館のスタッフに相談してください。」という案内をしました。

この後、3名の卒業生を訪問しましたがいずれも不在でしたので、置手紙をしました。

訪問後に福村主任に様子をお聞きしました。

——訪問対象は何人くらいですか。

「抱樸館卒業後、福岡市内に500人くらい住んでいますが、100人くらいは日常の連絡等が取れているので、今回の“一斉訪問”では411人が対象です。」

——そんなに多くの方をどうやって訪問するのですか。

「スタッフ15名で手分けして訪問します。アフター部門の私と久保はそれぞれ60～70人を分担し、それ以外のスタッフは20～30人ずつを分担して訪問します。2月初めくらいまでに終える予定です。」

——訪問してどのくらいの方と会えますか。

「意外と皆さん在宅で、半分くらいの方にお会いできます。不在の方には置手紙をします。」

——置手紙には、何か反応がありますか。

「卒業生から『何か用事があったのですか』という連絡が来るともあります。反応があると“会えなかったけど、元気そうで良かった”と思います。」

——今日はありがとうございました。

「地域の交流ネットワークの拠点になりたい。」

NPO抱樸の笑い家取材しました。(12月26日)

笑い家はNPO法人抱樸が運営している生活困窮者就労訓練事業所で、北九州市八幡東区にあります。2年半ほど前に取材し、会報7号にだし巻き玉子の様子を案内しました。その後お弁当作りを始めたということでしたので取材させていただきました。



笑い家の支援員富永正志さんにお話をお聞きました。

——お弁当作りを始めたそうですね。

「笑い家は2013年9月にできました。当初はだし巻き玉子だけでしたが、2015年9月にお弁当作りを始めました。現在ではお弁当の方が主になっています。」



——お弁当はどれくらい作っているのですか。

「平日のみ税込み500円で売っています。店売りで30個くらい、予約は多いときは数十個あるのですが、全くない日もあるので、合わせて平均40個くらいです。店売りはこの地域の方と、通りがかりの営業車の方が買っていかれます。」

——スタッフと訓練生について聞かせてください。

「スタッフ3名、訓練生2名の5名です。訓練生とは別にNPO抱樸の就労準備支援事業から体験生を受け入れることもあります。」



——だし巻き玉子はどうなっているのですか。

「当初、だし巻き玉子を訓練生が作っていました。でもだし巻き玉子をつくる業務用のフライパンが1kg近くあり、女性が持ち上げて使うのが難しいということと、人により熟練が進まず“売り物として作る”のは難しかったということで、現在は私がもっぱら作ることになりました。だし巻き玉子の販売としてはこの店では数個しか売れませんでした、弁当がある程度

売れるようになってだし巻き玉子の売り上げも少し伸びました。抱樸館北九州での販売やグリーンコープふくおかの清水店での委託販売も以前と同じに続けています。」

——訓練生の働く時間、それから1日の動きを教えてください。

「訓練生は3時間から6時間働きます。弁当作りは9時から11時までですが、訓練生は9時半から、あるいは10時からと人によって違います。11時からは弁当配達や店売りです。お店ではおかずまで用意した弁当に来店時にご飯をよそって販売します。午後は、弁当の販売と並行して翌日の弁当の準備とだし巻き玉子づくりもあり、だし巻き玉子の割り下を訓練生に作ってもらうこともあります。」

——訓練生はここを卒業されて、就労するということになっているのでしょうか。

「訓練生でこれまで卒業したのは10名くらいです。そのうち一般就労した方は2名です。生活保護を受けながら、作業所に通い始めた方が1名です。そのほかの卒業生は引き続きNPO抱樸で就労支援をしています。」

——笑い家がこれからやりたいことなどを聞かせてください。

「第一には訓練生が就労できるようになると良いと思っています。また、笑い家をここに作ったのは、この地域には、抱樸が自立支援した方だけではなく、高齢者の方々が多く住んでおられるので、高齢者支援の拠点になればという思いがありました。それで今後は地域の高齢者に弁当やだし巻き玉子を配達し、合わせて見守りをするようなことができれば良いと思っています。それからこの笑い家の裏手に交流スペース

「よるかふえ（寄るカフェ）」ができ、毎週火曜日の13時～18時まで開いています。子どもたちに学習支援をしたり、地域の方が気軽に立ち寄れる場になればと思っています。」



——ありがとうございました。

年末年始、ホームレス支援団体の行事あれこれ（2016～17年）

抱樸館は、各地のホームレス支援団体と連携しながらホームレス者・生活困窮者の自立の活動をしています。これらの団体が、年末年始に、ホームレス者・自立者に、心も体も温まって欲しいと願って、沢山の方の協力を得て様々な取り組みをしました。抱樸館福岡の書き初め会も一緒にご案内します。

かごしまホームレス生活者支えあう会では、

大晦日と元日に毎年恒例の越冬炊き出しを行いました。

今年も鹿児島市教育会館2Fの会議室をお借りし、大晦日は年越しそば、元日はお雑煮の炊き出しを行いました。当事者の方だけではなく、元路上だった方にも参加を呼び掛け、大晦日は

41名、元日は40名の方が会場に足を運んでくださいました。ボランティアスタッフ40名が朝から準備し、炊き出しは昼～午後2時までです。両日ともおにぎりやぜんざい、果物、お菓子、ブリのお刺身やあら炊きも、皆さんに食べていただきました。



使った食材は、

県内七つの農園から野菜とお餅用のもち米、それから漁師さんからブリを提供いただきました。

カイロや防寒着なども用意し、希望される方にお渡ししました。

毎年欠かさず参加される方もおり、近況や悩み事を伺う貴重な場としても、定着しつつあります。



長崎ホームレスを支援する会では、

ホームレスから自立できた方や生活困窮者に、毎年正月前に訪問し近況をお伺いするとともに贈り物パックをお届けしています。

今回も12月23日に支援者である会員14名が集まって、午前中に買い出しし、20数名分に仕分けしました。内容は、切り餅、ちゃんぽん、焼きそば、カレー、黒豆、ぜんざい、味海苔、缶詰、和菓子などです。

会員は5組に分かれて訪問しました。あいにくお留守の方もおられましたが、この日に配れなかった方々へも後日お訪ねし、年末までに合計27名の方々へお届けしました。



留守だった人を含め、後日数名の方々から、お礼と喜びの電話、メール、手紙が届きました。この年末居宅訪問は今では会の恒例の行事となり、居宅の皆さんと支援者をつなぐとても良い機会となっています。

また、「年末年始年越し村」として大晦日からの2泊3日で屋根のあるところで過ごしていただくために、2名を、アルコールやギャンブルなどの依存からの回復のための共同生活施設で受け入れていただきました。恒例の「年越しそば」ほかのご馳走を頂き、会員から差し入れて頂いたぜんざいも頂きました。1月2日の昼前には路上へ戻られましたが、しばしのくつろぎを得て頂きました。

美野島めぐみの家（福岡市）では、

美野島めぐみの家では、12月20日にクリスマス会を開催しました。来場者74人、ボランティア28人の皆で、「きよしの夜」を歌い、カトリック古賀教会のジュード神父様からクリスマスのお話しを聞き、クイズなど楽しんだ後、年に1度のすき焼き丼、わかめスープ、ゆず大根、てんぷら、煮物などの心づくしの食事をいただきました。毎週お渡ししているパン、バナナ、おにぎりのお土産に加え、いろんな教会や修道会から頂いた靴下、お菓子詰め合わせ、それに手袋、カイロ、みかんなどのプレゼントをお渡ししました。多くの方々の優しさがいっぱい詰まったクリスマスプレゼントでした。



新年の炊き出しは1月10日に始まりました。毎年恒例のぜんざいに加え、炊き込みご飯、味噌汁、田作り、黒豆、フルーツポンチなど正月

らしいメニューが並び、来場者72人、ボランティア29人でにぎわいました。

久留米越冬活動の会では、

12月6日、小頭町公園で越冬突入集会として屋台村を開きました。

信愛女学院短大生の明るく楽しい演奏が披露される中、おにぎりやおでん、ラーメン、ケーキ&珈琲などを43人のホームレス者や自立者、51人のボランティアと一緒に楽しみました。



新年1月9日には同じく小頭町公園で餅つき大会を開催しました。昼間に行なう唯一の炊き出しです。朝から雨が降ったりやんだり不安定な天候の中、約50人のホームレス者や自立者、30人のボランティアみんなでききたてのお餅をお雑煮、ぜんざいでいただきました。鮭おこわも提供され、下着セットや温泉入浴券のお年玉も好評でした。



福岡おにぎりの会では、

冬に向けての衣類準備を考慮して11月20日に季節イベント「秋まつり」を天神の須崎公園にて開催しました。今回で2度目になる「ラーメン屋」さんが出店、150食と替え玉まで用意していただきました。これにカレーライスもありで120名のみなさんがお腹いっぱいになりました。



12月から3月の2週までは越冬

特別体制として毎週金曜日に炊き出し夜回りを続けます。12月23日には年末プレゼントとして下着等を配りました。寄付下さった方々のお気持ちと共に仲間の健康を祈りながら、2016年最後の活動となりました。

1月29日は15時から須崎公園で恒例の雑煮大会です。お雑煮やつきたてのお餅で心も体も温まっただき、おにぎりの会と仲間たちとの信頼の心が強められることを願います。

抱樸(旧:北九州ホームレス支援機構)では、

1月3日に追悼集会と新年炊き出しを行ないました。約200名の方々が集まり、これまで路上で亡くなられた方々、引き受け手の無かった方々の追悼を行い献花をしました。

奥田理事長からは、「無縁仏の追悼をしているとよく言われるが、私たちが今追悼している方々は私たちの家族だった、決して無縁仏では無かった。家族が無いのであればつくればいい、なればいいんだ。」とメッセージがありました。

献花後みんなで乾杯し、焼肉弁当を食べ、こども越冬隊が用意したぜんざいも頂きました。今年は書き初め大会もあり、それぞれ思い思いの言葉を書いて大変盛り上がり



ましたし、恒例のライブではみんなでワイワイ歌って踊って楽しいひと時を過ごすことが出来ました。お天気に恵まれたことありますが、体も心も温まる新年炊き出しでお正月を迎えることができました。



抱樸館福岡では、みんなで書き初め

1月2日、新年の書き初めを行いました。10名近くの入居者と、卒業生数名が集まりました。

入居者のKさんは「書道」と書きました。非常に達筆です。聞くと、Kさんは長く調理の仕事をしておられ、品書きを書いていたそうです。書き初めをきっかけに、Kさんの仕事人生を聞かせていただくことができました。

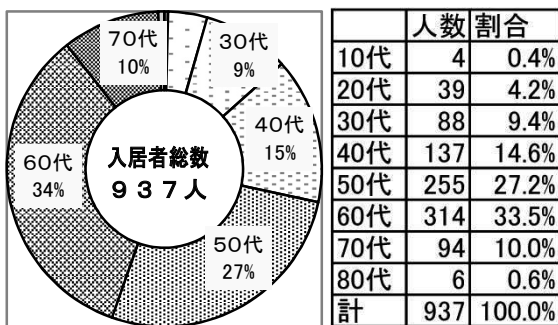


卒業生のNさんは、皆上手だから書きにくいと、なかなか筆を取られませんでした。いざ書くとなると、迷いなく、力強く「結束」と書かれました。えにしの会(ボランティア部)の中心メンバーであるNさんらしい言葉です。

それぞれの抱負や想い、人生が表れた書き初めは、抱樸館福岡の玄関に展示し、来館者に見ていただいています。

抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2016年12月末までの入居者



2016年12月末現在の入居者

67人（定員81名） 男性67人、女性0人

2016年11～12月の新入居者数・退居者数

新入居者数27名 退居者数12名

（注：12月末までの入居者数937人は、
2度・3度入居した人も1人と数えています。）

抱樸館下関・抱樸館北九州の入退居の状況は、特集の際にご案内します。

抱樸館福岡の見学のご案内

- グリーンコープ生協として見学される場合は、所定の用紙でお申込ください。
- 個人もしくは知り合いと一緒に

に見学される場合は、直接抱樸館福岡にご連絡ください。
◇出来れば5名以上でお願いします。（ホームページからも見学の申込が出来ます）

なお、1名あたり1000円の見学料をお願いしています。これには昼食代を含んでいます。昼食は入居者が日ごろ食べている食堂で同じものを食べていただきます。

抱樸館を支える会の概要

抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日：抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員：以下の17団体が正会員です。

- グリーンコープの各単協（14生協）
- グリーンコープ連合
- NPO法人 抱樸（旧：北九州ホームレス支援機構）
- 社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員

2016年12月末の賛助会員は、以下の通り

- グリーンコープの共同購入組員 8592名
- グリーンコープの店舗組員・一般の方 167名
- 企業賛助会員 106社

その他（抱樸館の所在地）

- 抱樸館福岡（福岡市東区） 2010年5月開所
- 抱樸館下関（山口県下関市） 2007年4月開所
- 抱樸館北九州（北九州市八幡東区） 2013年9月開所
- 抱樸館熊本：準備中

抱樸館を支える会 賛助会員と会費について

抱樸館を支える会 賛助会員募集

賛助会員を募集しています。
賛助会員には、会報をお届けします。

グリーンコープの共同購入組員

賛助会員の申込には2つの方法があります。

- 毎月250円の賛助会費を申し込みいただく（年間で3000円です）

毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。

共同購入申込書の「1300」で申し込みください。

- 1口1000円の賛助会費を申し込みいただく。何口でも申し込み出来ます。

申し込みいただいた月の商品代金と一緒に一括して引き落としとなります。

共同購入申込書の「1299」で申し込みください。

賛助会員は一度申し込みいただくと毎年更新されますので新たに申し込みいただく必要はありません。（グリーンコープの共同購入組員の場合）

- ①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。②の会員は申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

一般の方、グリーンコープの店舗組員

1口1000円の賛助会費を何口でも申し込み出来ます。

郵便振替でお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱樸館を支える会

企業賛助会員 募集中です

企業賛助会員は、会費が1口10,000円です。出来れば3口（30,000円）以上でお願いします。申し込みは、下記へ。

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

社会福祉法人グリーンコープ

担当 家原 電話 092-482-1964

抱樸館の連絡先

抱樸館福岡（電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772）

〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州（電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705）

〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-1-1

抱樸館下関（電話 083-223-4544 FAX 電話と兼用）

〒750-0025 山口県下関市竹崎町3-5-25